

5月19日(金)午前9時30分 CRT スタジオで収録予定

「理科と社会の勉強方法」を考える

一小1から高3まで、学年に関係なく、理科と社会は楽しく学ぼうー

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 理科と社会を勉強する時には、

- ①学校の教科書や資料集、
- ②開倫塾のテキスト、
- ③授業ノート、
- ④参考書
- ⑤新聞
- ⑥図書館、博物館、資料館

などがとても役立ちます。



(2) イラスト満載の図鑑や、学習漫画も、小学生から高校3年生まで、とても役に立ちます。

(3) イラストや、写真満載の新聞、月刊誌や、新書本、文庫本も役に立ちます。

2. (1) 小学1年生から、高校3年生まで、全学年で、特に役に立つのが、学習図鑑と学習漫画です。

(2) イラストや、写真満載の、新聞、理科実験図鑑、植物図鑑、生物図鑑、人体図鑑、歴史図鑑、歴史人物図鑑、歴史地図、歴史年表、世界地理、日本地理など、図書館には、数限りなく、あります。

(3) イラストや写真が満載の新聞「科学雑誌」「歴史雑誌」もたくさんあります。

(4) 図書館、博物館、科学技術館も役立ちます。



3. (1) マンガ「日本史」「世界史」「理科」も山ほどあります。

(2) イラストや写真満載の「理科」「社会」の参考書・新書本・文庫本も、よく図書館や書店で探せばたくさんあります。

(3) 月刊誌でおすすめは、「子供の科学」です。



4. (1) 新書本でおすすめは、「岩波ジュニア新書」や、「講談社ブルーバックス」です。

(2) イラストや漫画、写真満載の、わかりやすく書かれた、文庫本や単行本も、紹介しきれない度たくさんあります。

(3) 小学1年生から高校3年生まで、理科や社会で学ぶすべての分野に役立つ、イラストや写真満載の「図鑑」や「マンガ」「新書本」「文庫本」「単行本」が、山ほどあるのが、日本です。

5. (1) 学校図書館、公共図書館には、毎日、出かける。
- (2) 書店や、古書店も時間があれば訪れる。
- (3) 図書館、博物館、科学館もどんどん訪問。



6. (1) 理科と社会に慣れ親しむにはどうしたらよいかを今回は考えました。
- (2) イラストや写真がたくさん載っている「図鑑」や「参考書」「月刊誌」「新書本」「文庫本」「単行本」を、学校図書館、公共図書館、書店、古書店などで時間をかけ探し、時間をかけて何回も、何十回も読み直すことをお勧めします。
- (3) 博物館、科学館、美術館にもどんどん出かけてみましょう。
きっと理科や社会が大好きになりますよ。

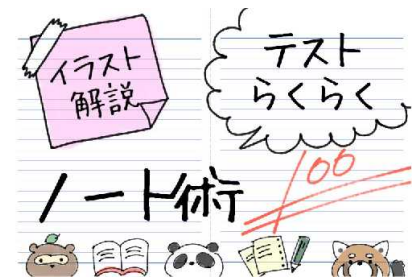


< CRT ラジオ栃木放送・開倫塾の時間 > 2023年5月20日(土) 放送内容資料

「社会科・理科の勉強方法」を考える(2)
—まとめノートの作り方・活用方法—

開倫塾
塾長 林明夫

1. (1) 小学校高学年から高校3年生の、社会科・理科の勉強としておすすめなのが
(2) 「まとめノート」の作成と、徹底活用です。
(3) ①「学校の教科書」と、「学校の授業ノート」の二つを中心に、「まとめノート」を自分の力で作成。
②後で、定期試験や、模擬試験、入学試験時に、勉強しやすいように、工夫をしながら、教科書の全文を書き写す。
③それに、学校での授業内容を記録した「授業ノート」の内容を書き加えることがポイントです。
○「新聞スクラッチブック」もどんどんつくりましょう。
2. (1) 使用するのは、できるだけ厚めの「大学ノート」です。
(2) ①「大学ノート」は、左ページのみを使用。
②右ページには、何も書かないで、「白紙」にしておく。
③なぜ、右ページを開けておくのか。その理由は、右ページには、後で勉強した内容を、どんどん書き加えていくためです。
3. (1) この「まとめノート」の作成と活用は、中学生よりは、高校生におすすめです。高校生よりは、大学生・専門学校生におすすめです。
(2) 大学院生や、社会人には、なおさら、おすすめです。



(3) 弁護士や、医師、公認会計士などの専門職はもちろん、大企業経営者や経営コンサルタントなど、高度な仕事を成し遂げる「高度専門職」は、「左ページを使用し、右ページを開けて使用する」、皆独自の「まとめノート」を作成、活用しています。

4. <「まとめノート」の活用方法>



(1) ①「授業ノート」「観察ノート」「意味調べノート」「新聞スクラップブック」など「ノート」は、何のために作成するのか。

②それは、後で勉強する時に、役立てるためです。「ノート」を読み直し、理解したり、定期試験や入学試験でよい点数を取るために、何回も読み直し、役立てるためです。

③ですから、ノートは、後で勉強しやすいように、大切なところに線を引いたり、マークをしたり、線で囲んだりすることをおすすめします。

(2) ①しかし、多くの人は、授業中ノートをとったり、観察したことをノートにまとめたり、意味調べノートを作りますが、あまり、活用していないようです。

②現実には、「あまり活用していない」というよりは、せっかく作ったノートを「一度も見ない」人が多いようです。「ノートを取るためにノートを取る」のでは、あまりにももったいないと、思います。

③よく、ノートを取らなくていいから、「しっかり、授業に集中しましょう」「しっかりお話を聞きましょう」とおっしゃる先生がいるのは、なぜか。「ノートを取っても、後で、活用する人が少ない」ことを知っているからかもしれません。

○また、大切なことをノートに取るのは、高度な言語能力を必要としますので、あまり無理をさせたくない、との考えからかもしれません。

(3) ①しかし、授業で大切なことや、お話を聞いて大切なこと、教科書や本を読んでいる大切なことを、自分の頭でまとめて、ノートに書き記すことは、考えながら授業に参加し、人の話を聞き、本や文章などを読み進めるうえで、とても大切なことと考えます。

②また、読んだり、聞いたり、考えたりした内容を、その場で、全部覚えることは難しいので、ノートに、書き記すことは、とても大切と考えます。

③もっといえば、社会に出て仕事や社会的活動をする時に、打ち合わせなどに参加して、大切なことをメモできないと、仕事の上で約束が果たせず、大きな妨げになることが多いと思います。学校時代に、授業中に大切なことをノートに取ることは、社会に出るときの素晴らしい準備となります。



5. (1) 小学生、中学生、高校生の際に身に着けた効果の上がる学習方法は、大学・専門学校、大学院、社会に出てからも役に立ちます。

(2) 生涯を通じて役立ち、「人生の成功」「多様な選択肢のある人生を歩む」ためにも役立ちます。

(3) 開倫塾では、「効果の上がる学習方法」を「学習の3段階理論」としてまとめたものを、塾生の皆様にお伝えし続けています。

○開倫塾の塾生である間に、少しずつでも OK ですから慣れ親しんでくださいね。